

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

平成 30 年度三重県海苔漁期前研修会 - 8/22 (水) 松阪市・華王殿にて -

8月22日(水)華王殿(松阪)にて、三重県漁業協同組合連合会と三重県黒のり養殖研究会が平成30年度三重県海苔漁期前研修会を開催しました。

当日は、桑名から鳥羽までの生産者および漁協職員、国・県・市町担当者、資材メーカー等関係者ら約150名が参加したほか、海苔問屋の若手経営陣らも来賓として出席しました。

午前の部では、三重漁連購販事業部のり海藻課より「今漁期の対策等について」、指導部より「広域浜プランの進捗状況について」の報告が行われました。

午後からは三重県鈴鹿水産研究室の山田大貴氏より「今漁期の生産対策及び研究課題等について」、(株)中野海苔代表取締役社長中野智之氏、社長室長の中島和宏氏より「海苔業界の現状と課題」、水産研究・教育機構増養殖研究所の長谷川夏樹氏、渡部諭史氏より「新しい科学技術でノリの問題にせまる」の講演が行われました。

また、特別企画として、来場者が配布された県内外の黒ノリ10種類を食べ比べてその産地を当てる「海苔産地当てコンテスト」が開催され、最高得点では8点が出るなどし、会場は大いに盛り上

がりました。成績上位者には三重県黒のり養殖研究会の木下和行会長から賞品が贈呈されました。



水産振興室勉強会 8月17日(金) 水産会館

先般、水産庁より「水産政策の改革」が示されているところですが、漁業の将来については、漁業者のみならず、それぞれの立場から、これまでも様々な議論が行われてきました。

こうした現状を鑑み、現在の漁業の基盤をなしている制度等について再確認し、今後推進される事項に対して、三重県の現状を捉え、将来に向けてしっかりした対応がとれるよう、三重水産協議会・水産振興室が水産会館内の系統職員を対象に標記勉強会を開催し、約50名が参加しました。

研修内容は下記の通り。

1. 主旨説明

2. 『漁業法と漁業権制度の基本的事項について』

講師：三重県農林水産部漁業環境課

副参事兼漁業調整班長 廣岡 慎介 氏

漁業調整班主幹 奥村 宏征 氏

3. 『水産業協同組合法の基本的事項について』

講師：三重県漁業協同組合連合会

参事 田中 耕司 氏

4. 質疑応答

ていることもあり、同イベントでは海苔海藻類や、タコの炊き込みご飯の素などを販売しました。

白川町の方は10月に三重・津市を訪れ、海浜清掃活動に取り込まれる予定です。

また、毎年恒例・白川町での植樹活動「山・川・海～思いやりの森」は、10月20日(土)に開催予定です。詳細が決まり次第、皆様へお知らせします！

**三重県おさかな料理コンクール
レシピ募集！！**

三重県産の魚介藻類を使用した新しい料理の創作とそのレシピの普及を目的に、三重県水産物消費拡大促進協議会が三重県おさかな料理コンクールを開催します。今年のテーマは『私のおすすめ！のりと魚介藻類を使った料理』。本大会(9月24日(月))に出場可能で、三重県在住の料理が好きな方であれば誰でも応募できます。

詳しい情報は三重県漁連HPでもご覧いただけます。応募の締め切りは9月7日(金)まで。是非ご応募ください。

第4回林業まつり

8月11日(土) 岐阜県白川町



8月11日(土)、岐阜県白川町林業センターにおいて、第4回林業まつりが開催されました。

このイベントは、8月11日の「山の日」に合わせ、林業の普及啓発活動を目的に地元白川町森林組合が主催となり開催しているもので、今年で4回目の開催となりました。

三重漁連は、白川町や白川町森林組合等と合同で、毎年植樹活動(山・川・海～思いやりの森)を実施し、交流を深め

【主な予定】

○8月30日(木)

水産政策の改革説明会(津)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。